

## 2 SJS/TENの診療ガイドラインをよむ

### Brief overview of the guidelines for the management of SJS and TEN

狩野葉子

KANO Yoko

公立阿伎留医療センター皮膚科

#### Summary

スティーヴンス・ジョンソン症候群(SJS)と中毒性表皮壊死症(TEN)は、主として薬剤により発症し、早期診断や治療において苦慮することが多い疾患である。平成28年にこれら疾患の診療ガイドラインが策定された。本ガイドラインは、日常診療で診断に際して鑑別を要する疾患や、治療において直面するさまざまな状況を想定して設問され、それに対して推奨文による回答と解説、文献が加えられている。また、このガイドラインの策定とともに、従来のSJS、TENの診断基準が改訂され、治療指針にも追記がなされた。本稿では診断基準と治療指針の改訂部分を示すとともに、実際の臨床現場で有用となるガイドラインの情報をまとめて概説した。

#### スティーヴンス・ジョンソン症候群(SJS)

高熱などの症状を伴って、口唇・口腔、眼、外陰部などを含む全身皮膚に紅斑・びらん・水疱が多発し、表皮に壊死性障害をきたす疾患である。原因としては薬剤が多いが、マイコプラズマ感染も契機になることがある。

#### 中毒性表皮壊死症(TEN)

大部分はSJSから進展する。SJSより広範囲に皮膚に紅斑・びらん・水疱が出現し、経過中に敗血症などの感染症を生じて致死になることが多い。

#### KEY WORDS

スティーヴンス・ジョンソン症候群(SJS)／中毒性表皮壊死症(TEN)／薬剤／ステロイドパルス療法／免疫グロブリン製剤